



プレイバック!! 令和2年度事業 議会で決算をチェックしました

一般会計の決算額

歳入 441 億 2,463 万円
(昨年度比 125 億 6,765 万 1 千円 **↑**)

歳出 426 億 3,801 万円
(昨年度比 121 億 1,793 万 5 千円 **↑**)

↓ 歳入額から歳出額を差し引いた額は

差引 14 億 8,662 万円

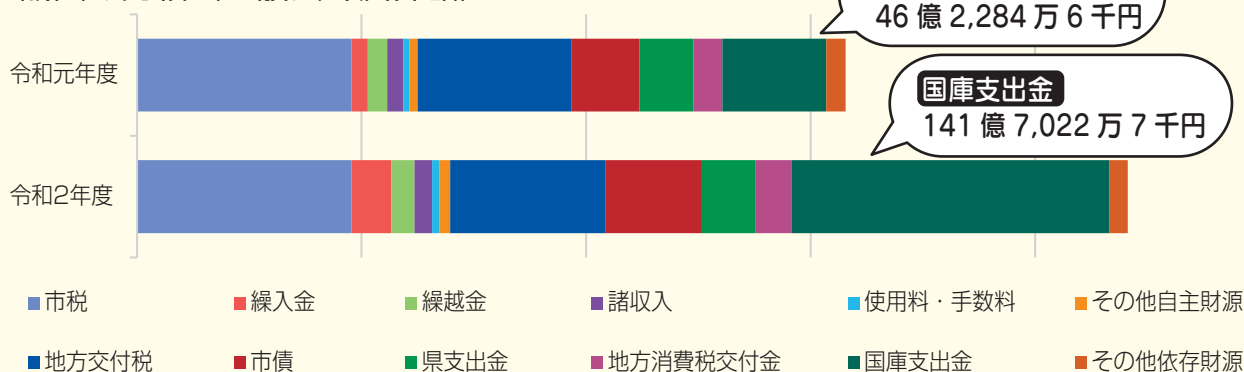
議会は決算特別委員会を設置し、9月8日～10日に審査を行いました。この委員会は、令和2年度の予算が目的に沿って使われていたか審査し、改善点を市に伝え、今後の事業執行につなげてもらうための重要な役割を担っています。

**決算特別委員会
が昨年度の決算
審査を実施**

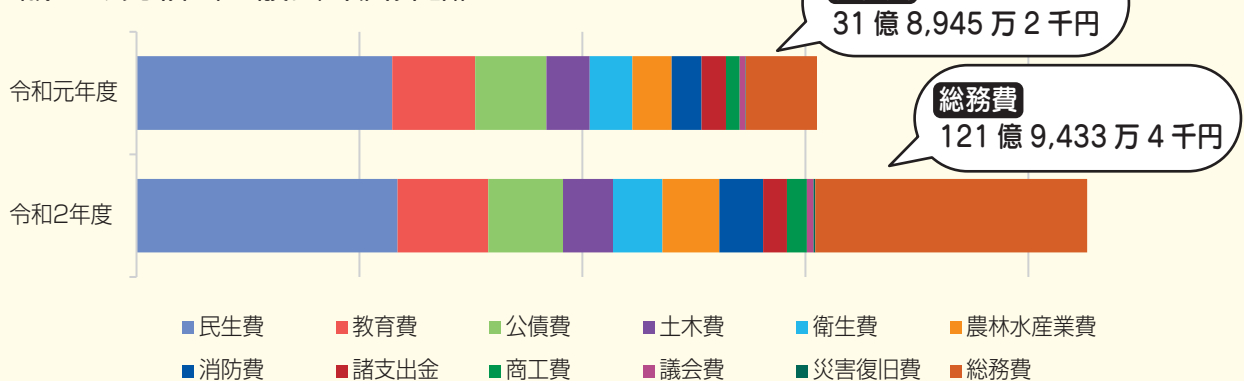


令和2年度は100億円以上決算規模が大きくなったんだね。
何が増えたんだろう？

歳入の比較（一般会計決算額）



歳出の比較（一般会計決算額）



歳入・歳出額の内訳の詳細や、特別会計などの決算額、財政指標などは広報かさま 10 月号をご覧ください。



歳入では国庫支出金で 95 億円以上、歳出では総務費が 90 億円以上増えました。
この要因の主なもの、特別定額給付金（市民 1 人に 10 万円給付したもの）で、約 75 億 5 千万円を占めています。



消防費

防災行政無線デジタル化
整備事業
約 4 億 480 万円



・令和3年度にも継続して整備されている事業です

商工費

プレミアム商品券事業
約 1 億 6,837 万円



・商工会で発行したプレミアム付商品券の発行に補助しました

教育費

みなみ学園義務教育学校整備事業
約 4 億 3,767 万円



・9学年が同じ校舎で学ぶために校舎を増築しました

【問】 民生委員事業について、民生委員のなり手がなくなっているという聞きが、これまでどうだったか。

【答】 3年に一度の改選はあるが、本市ではこれまで欠員になることはなかった。ただし、担い手の年齢は高齢化している現状はある。

【問】 生活保護に対する民生委員の関わりはどのようにしているか。

【答】 以前は民生委員を介しての相談が多かったが、最近は直接市へ相談する事例が多くなっている。調査段階や保護決定後において民生委員と情報共有をしつつ、対象者が地域での生活などにおいて課題が見られた場合など、情報提供をいただいている。



決算特別委員会ではどのような質疑と答弁がありましたか？

【問】 コロナ禍で密集しない入札方法として電子入札導入事業を進めて、電子入札システムにかかると機器購入等補助をしたが、何社に補助を交付し、業者が購入しなければならなかったものは何か。

【認定第1号】（財政課所管）

【答】 この補助金の交付対象者は、笠間市内に本店があり、これまで電子入札の対象になっていなかった物品購入や役務の提供に該当する業者で、補助交付を受けたのは22社。購入したものとしてはパソコン本体、電子認証のためのICカードとカードリーダーなどである。

【問】 電子入札に対応できる環境を増やす必要があると思うが、今後同様の補助金を出す予定はあるか。

【答】 令和3年度から基本的には全案件が電子入札としており、業者はインターネットを通じて入札することになる。令和2年度の補助事業では、物品購入などの業種の市内の小さな商店などが自費で導入することが難しいことが予想されたため、新型コロナウイルス交付金を使って補助制度を導入したが、補助を受けなかった方も徐々に対応整備を進めていただいている状況があるため、令和3年度からは補助金導入は考えていない。

3日間にわたり執行部との活発な質疑応答が交わされ、最終日に討論、採決を行い、全ての会計を原案のとおり認定すべきものとなりました。

定例会最終日（9月15日）の本会議で、委員長が審査結果を報告し、採決の結果、

全ての決算を **認定** しました。

【決算特別委員会 委員】

委員長：村上 寿之 / 副委員長：林田 美代子
委員：坂本 奈央子・安見 貴志・内桶 克之
田村 幸子・中野 英一
田村 泰之・大関 久義

【問】 地場産材活用による都市魅力向上事業について、整備した3件とはどのような内容か。

【認定第1号】（管理課所管）

【答】 みかげ石を使った歩道整備工事として、笠間駅前ギャラリーロードの芸術の森公園入口、常陽銀行笠間支店の先の大町富士山線という佐白山の入口を整備した。

【問】 整備したのが全て笠間地区だが、他の地区も検討に入っていたのか。

【答】 友部・岩間地区でも連続した長い距離を整備できればと思ったが、対応できる仕事量の限度もあり、この事業内容になった。笠間地区なら

【問】 ば前後で同様にみかげ石を使っている、同じように続けられたということもある。

【問】 令和3年度などに追加で整備されることはあるか。

【答】 令和2年度は国の交付金の内容に該当したが、この後は地場産材を使った交付事業が出ていない。再び機会があれば検討していきたい。

